

# 『車両保険』 おすすめガイド



車両保険に加入した方が良いつて言うけど、  
ホントに車両保険って必要なの？

**車両保険のお支払い件数は、年間約60万件\*!!**

お客さまの大切なおクルマだから、万が一の事故に備えて、  
自動車保険の中でもとても重要な『車両保険』をご契約いただく  
ことをおすすめします。

※上記は2020年3月末データ損保ジャパン調べです。

(注)車両保険の自己負担額(免責金額)の設定条件などによっては自己負担が発生する場合があります。



\\ 車両保険はこんなときにお客さまをお助けします! //

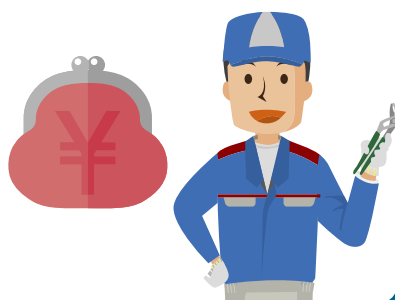
## 事故にあった場合

事故時の  
修理費をカバー



## 事故後の対応

示談を待たずに修理  
賠償を待たずに補償



## 事故以外の補償

台風、洪水など  
自然災害の被害  
への備え



# 車両保険とは、ご契約のおクルマが損傷したり盗難にあった場合などに保険金をお支払いするお客さまご自身のための保険です！



車両保険ご加入なしの場合の保険料  
**34,230円**

車両保険の自己負担額は右表の中から  
お選びいただけます。

**ご注意** ご契約期間が1年超の長期契約の場合は、保険年度ごとに車両事故の回数を数えます。

補償内容	ご契約の自動車以外の自動車との衝突	あて逃げ	動物との衝突	盗難	火災・爆発
<b>グレード1 補償型</b> ★★★★★	一般条件 + 自己負担額なし + 車両新価		<b>70,530円</b>		
<b>グレード2 補償型</b> ★★★★★	一般条件 + 自己負担額なし		<b>69,040円</b>		
<b>グレード3 補償型</b> ★★★★	一般条件 + 自己負担額あり		自己負担額10万円の場合 <b>57,380円</b>	自己負担額5万円の場合 <b>61,940円</b>	
<b>グレード4 補償型</b> ★★★	車対車・限定危険* + 自己負担額なし		<b>52,360円</b>		
<b>グレード5 補償型</b> ★	車対車・限定危険* + 自己負担額あり		自己負担額10万円の場合 <b>46,290円</b>	自己負担額5万円の場合 <b>48,660円</b>	

\*「車対車事故・限定危険特約」を付帯した車両保険をいいます。

**ご注意** 車両保険では地震・噴火・津波による損害は補償されません。「地震・噴火・津波車両全損時一時金特約」を付帯することにより、ご契約の自動車に損害が生じ所定の状態になった

## 無過失事故の特則 **自動セット**

損保ジャパンの車両保険なら安心！『無過失事故の特則』が自動セットされていますので、一定条件を満たした場合、等級はダウンしません。安心して車両保険をご利用いただけます。



**もし、本特則がなかったら…**

車両保険を使うと、ノンフリート等級は**ダウン**します。

現在のご契約

**19等級**  
(割引 55%)

事故有係数適用期間 0年

保険料例 **70,530円**

過失のない事故

3等級ダウン

継続後のご契約

**16等級**  
(割引 36%)

事故有係数適用期間 3年

保険料例 **96,890円**

※一般条件・自己負担額なし・車両新価特約付帯

**損保ジャパンなら 本特則があるから…**

車両保険を使っても、ノンフリート等級は**ダウン**しません。

現在のご契約

**19等級**  
(割引 55%)

事故有係数適用期間 0年

保険料例 **70,530円**

過失のない事故

ノーカウント

継続後のご契約

**20等級**  
(割引 63%)

1等級アップ

事故有係数適用期間 0年

保険料例 **59,440円**

※一般条件・自己負担額なし・車両新価特約付帯

**差が37,450円**

### 過失のない事故とは？

相手自動車の追突



相手自動車のセンターラインオーバー



相手自動車の赤信号無視



駐車中のご契約の自動車への相手自動車の接触・衝突



**ご注意** 「相手自動車」および「その運転者または所有者」が確認された事故、車両保険金のみをお支払いする事故(なお、車両積載動産特約の保険金をお支払いする場合は除きます。)いずれも満たす事故にかぎりません。

●保険種類:THE クルマの保険(個人用自動車保険) ●記名被保険者:個人 ●用途車種:自家用小型乗用車(料率クラス 車両:7 対人:7 対物:7 傷害:7)  
 ●初度登録年月:2022年1月 ●新車割引:あり ●ご契約期間:2022年1月1日から1年間 ●等級:19等級 事故有係数適用期間:0年  
 ●記名被保険者の運転免許証の色:ゴールド ●運転者年齢条件:35歳以上補償 本人・配偶者限定特約 ●記名被保険者年齢40歳 ●使用目的:日常・レジャー使用 ●対人賠償・対物賠償:無制限 自己負担額:0円 ●車両保険:150万円(車両新価特約:150万円) 自己負担額:定額方式  
 ●人身傷害(搭乗中のみ):5,000万円(入通院定額給付金対象外) 弁護士費用特約(日常生活・自動車事故型)付帯 ●払込方法:一括払

定額方式

車両事故回数にかかわらず、  
 0万円、**3万円**、**5万円**、7万円、  
**10万円**、15万円、20万円

※印については車対車自己負担なし特約付帯可能

増額方式

車両事故1回目	車両事故2回目以降
0万円	10万円
3万円	10万円
5万円	10万円

台風・竜巻 洪水・高潮	落書・いたづら	物の 飛来・落下	電柱・ガード レールに衝突	自転車との 衝突・接触	墜落・転覆	オプション 新車買替
合 自己負担額3万円の場合 <b>63,970円</b>						
合 自己負担額3万円の場合 <b>49,720円</b>						

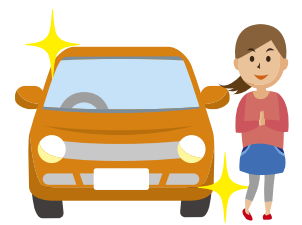
場合に、一時金をお支払いします。(車両保険の種類が「一般条件」のご契約に限ります。)

車両新価特約(最長6年間) オプション

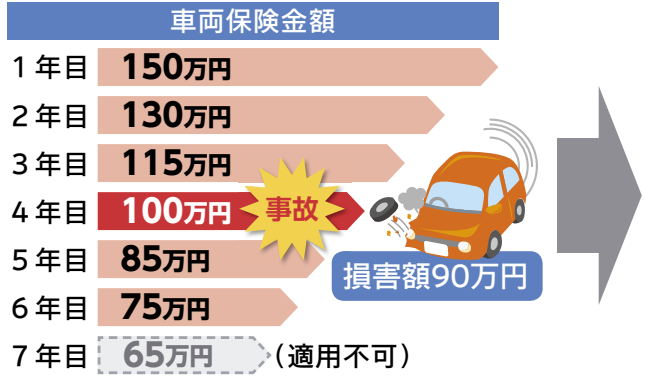
ご契約の自動車が全損になった場合、または修理費が新車価格相当額の50%以上※となった場合、実際にかかる自動車の再取得費用(車両本体価格+付属品+消費税)または修理費について、新車価格相当額を限度にお支払いする特約です。また、所定の要件を満たす場合は、再取得時諸費用保険金として新車価格相当額の20%(40万円限度)または20万円のいずれか高い額をお支払いします。

※内外装・外板部品以外の部分に著しい損傷が生じた場合に限りです。

- ご注意**
- 盗難後、ご契約自動車が発見されなかった場合はこの特約の対象外です。
  - 事故発生日の翌日から起算して1年以内に代替の自動車を再取得またはご契約の自動車を修理された場合に限りです。
  - この特約は、次の条件をすべて満たす場合に限り、付帯することができます。
    - 車両保険を適用したご契約であること。
    - 新車価格相当額が車両保険金額の2倍以下の金額であること。
    - 満期日の属する月が初度登録年月(または初度検査年月)の翌月から起算して73か月以内であること。



例 4年前に新車購入したおクルマでドライブ中に自損事故で大破してしまった場合



車両新価特約なし	
◆90万円を受け取って修理	= 受取額 <b>90万円</b>
◆90万円を頭金として新車を購入	
車両新価特約あり	
再取得費用 <b>150万円</b>	= 受取額 <b>180万円</b>
+ 再取得時諸費用* <b>30万円</b>	

※新車価格相当額の20%(40万円限度)または20万円のいずれか高い額

# 代車等諸費用特約 オプション

ご契約の自動車修理中！その間レンタカーを借りたい！そんなときには…月々約500円で万が一の代車と安心を！

## 代車等諸費用特約のメリット

- ✓ 事故\*の場合、30日間を限度に代車費用をお支払い！
- ✓ 車両保険を付帯していないお客さまも付帯可能！
- ✓ 保険料は代車日額に応じて定額！

**保険料例** 保険期間1年・保険料年一括払特約を付帯した場合

代車日額	代車等諸費用特約	代車等諸費用特約 + 代車費用の補償日数 短縮特約
5,000円	5,800円	4,300円
7,000円	8,100円	6,000円
10,000円	11,550円	8,550円

**ご注意** この特約により「ロードアシスタンス」の「宿泊移動サポート」のサービスメニューをご利用いただけます。詳しくは「ご契約のしおり(約款)」に記載のロードアシスタンス利用規約をご確認ください。  
 ※ご契約の自動車故障損害により走行不能となった場合は15日、事故またはそれ以外のトラブル等の場合は30日を限度とします。  
 ※支払対象期間の初日から1年を超えた場合はお支払対象外になります。ただし、大規模災害等やむを得ない事情がある場合は、1年経過後の期間も対象に含めます。

代車費用

代車日額 × 利用日数まで

宿泊費用

1事故1被保険者につき

**1万円**まで

移動費用

1事故1被保険者につき

**2万円**まで

引取費用

1事故につき

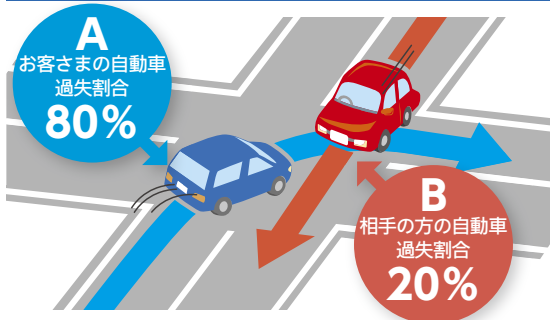
**15万円**まで

## 保険料を抑えたいお客さま向け 「自己負担額(免責金額)10万円」

自己負担額(免責金額)とは、車両保険の保険金をお支払いする場合に損害額から差し引き、お客さまにご負担いただく金額のことです。相手の方からの賠償(回収金)がある場合は、自己負担額は軽減されます。

**例** 交差点事故の場合…お客さまの自動車に50万円の損害が発生しました。

車両保険金額:100万円、  
自己負担額(免責金額):10万円でご契約の場合



車両保険をご契約していないと…

相手の方からの賠償(回収金:50万円×20%=10万円)を差し引いた不足分の40万円がお客さまの負担額

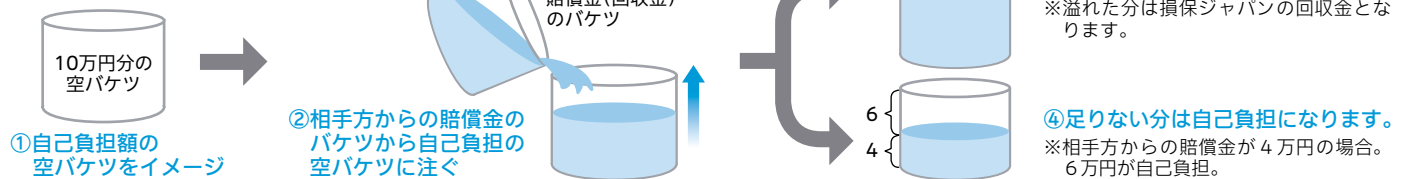
自己負担額(免責金額)10万円の車両保険をご契約していると

50万円(損害額) - 10万円(自己負担額) = 40万円  
**車両保険で40万円のお支払い。実際のお客さまの負担額は0円\*に！**

\*自己負担額10万円は、過失の結果で0円となります。

もし相手の方からの賠償(回収金)が自己負担額(免責金額)を下回った場合でも、お客さまの負担額は、**自己負担額(免責金額) - 賠償(回収金)**となります。また、お客さまの自動車が全損した場合は、自己負担額(免責金額)は適用されません。

自己負担額(免責金額)10万円の場合のバケツでのイメージ



- ★「THE クルマの保険」は、「個人用自動車保険」のペットネームです。
- ★このパンフレットは、「個人用自動車保険」の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては、「ご契約のしおり(約款)」「重要事項等説明書」などをご覧ください。詳細は、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。
- ★損保ジャパンは、保険契約に関する個人情報を、保険契約の履行、損害保険など損保ジャパンの取り扱う商品・各種サービスの案内・提供、などを行うために取得・利用し、業務委託先、再保険会社、などに提供を行います。なお、保健医療などの特別な非公開情報(センシティブ情報)につきましては、保険業法施行規則により限定された目的以外の目的に利用しません。詳細につきましては、損保ジャパン公式ウェブサイト(<https://www.sompo-japan.co.jp/>)に掲載の個人情報保護宣言をご覧ください。取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせ願います。

お問い合わせ先



損害保険ジャパン株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
 <連絡先> <https://www.sompo-japan.co.jp/contact/>

SOMPOグループの一員です。